

岐阜高専 「ぎふサイエンスフェスティバル2014」に出展

岐阜高専は11月22日（土）に岐阜市文化センターで開催された、「ぎふサイエンスフェスティバル2014」に、科学実験や工作の7ブースを出展しました。今年で第3回となるこのイベントは、広く市民の科学に関する興味関心を高め、岐阜県の科学技術のレベルアップを図るとともに、理科好きな児童生徒に科学体験をさせることにより科学教育の振興を図るために開催されており、44のブースに約3,000名の参加がありました。

岐阜高専のブースでは、演習学生は多くの児童生徒に対して理解し易い説明を心がけ、工夫を凝らした実演や工作教室を行なったことにより、児童生徒とその保護者が科学・科学技術への理解や関心を高めるための一助となりました。また出展を通じ、岐阜高専への関心や理解を深めることもでき、大変有意義な外部交流の場となりました。

岐阜高専からの出展ブースは次のとおりです。

代表者名	テーマ名
機械工学科 山田 実 教授	レゴブロックでロボットを作ろう
電気情報工学科 所 哲郎 教授	ひらめきパズル教室（立体パズルに挑戦）
電気情報工学科 羽淵 仁恵 准教授	魔鏡をつくろう
電気情報工学科 飯田 民夫 講師	エコ観覧者をつくろう
電子制御工学科 栗山 嘉文 講師	ライントレースロボットを用いた教育教材の開発 ライントレースロボットの仕組みと回路の製作体験
環境都市工学科 廣瀬 康之 准教授	地震防災・減災



出展ブースの様子